

EtherScope® nXG v2.2 Release Notes

December 28, 2022

このEtherScopeリリースノートでは、このリリースに含まれる新機能と拡張機能を説明します。

このドキュメントの最後にあるソフトウェア アップグレード手順を参照してください。

Version 2.2 New Features

特に断りのない限り、EtherScope 200と300の両方に適用されます。

Wi-Fi 解析のためのバッテリー駆動の延長

- Wi-Fiと有線イーサネットのテストを行ったり来たりしない場合は、新しいコントロール機能により、有線の「Use Wired test port」をオフにして電力を節約し、最大10時間、Wi-Fiのみのテストを行うことができます! 設定手順以下になります。

一般設定 > Use Wired test port (無効化/有効化)

プライマリーチャンネルインジケーター

- Wi-Fiチャンネルの場合、ブラケットグラフィックの「ノッチ(くぼみ)」は、チャンネルオーバーラップマップでどのチャンネルがプライマリであるかを示しています。

違法チャンネルの検出

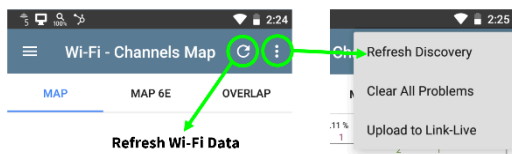
- スマートフォンやラップトップのアプリよりも EtherScope nXG を使用する主な利点は、国で許可されているチャンネルだけでなく、すべてのチャンネルを分析できることです。これにより、不正なデバイスの可視性が向上します。v2.2 では、EtherScope は許可されていない AP とチャンネルを「問題」として報告し、Wi-Fi チャンネルマップにチャンネル番号を示します。

クライアントの特定

- Locateツールや外部指向性アンテナによるAPの発見(不正の有無)に加え、Locateを使ったクライアントの発見が可能になりました (EXG-300モデルのみ)。

Wi-Fi とディスカバリのリフレッシュ

- Wi-Fiテストを実施している施設内を移動する場合、分析データ(および必要に応じてディスカバリ)を更新する必要があります。Wi-Fiアプリのオーバーフローメニューからディスカバリをクリアできるようになり、Wi-Fiリフレッシュを簡単にコントロールできるようになりました。



ローミング解析の強化

- Wi-Fiプロファイルのローミング・スレッショルドの設定 (EXG-300のみ) を追加し、よりモバイル端末に近いエミュレーションを可能にしました。

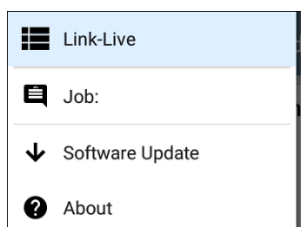
Version 2.2のその他変更点

- ユーザーガイドがローカルストレージではなく、www.netally.com に保存されるようになりました (ホーム画面でガイドをクリックするとアクセスできます)
- NXT-1000 Spectrum Analyzer使用時に、最適なスペクトル解析結果を得るためにワイヤレスポートをオフにする通知を追加しました。
- パフォーマンスアプリのテスト設定が、Link-Live に送信され、テスト結果に含まれるようになりました。
- Wi-Fi アプリに合わせて、自動テストのチャートのデフォルトタイムスケールを2分に変更しました。
- 「DS パラメータ セット」要素を持つAPビーコンへの対応を追加しました。
- Wi-Fiプロファイルのローミング・スレッショルドの設定を追加しました。

Version 2.2 へアップデート

装置を Link-Live に登録している場合は、以下のファームウェア アップデート手順を実施してください。

- 利用可能なソフトウェアアップデートを確認するには、ホーム画面から Link-Live アプリを開いてください。
- Link-Live アプリでメニューアイコンをタップするか、右にスワイプして左側のナビゲーションドロワーを開いてください。



- ソフトウェア アップデート をタップします。ソフトウェア更新画面が開き、利用可能な更新のバージョン番号が表示されます。
- ダウンロード+インストール をタップして、システムをアップデートします。
- 終了すると、本機が再起動します。

Thank you for your investment in NetAlly products!

This software update is a key benefit of your AllyCare™ Premium Support Services contract. For more information about AllyCare benefits, click [here](#).